

令和7年度第2回小林市地域公共交通活性化協議会・地域公共交通会議 会議要旨

開催日時：令和7年8月21日（木） 14時00分～14時50分

開催場所：小林市役所 第1別館大会議室

出席者等：出席委員8人、代理出席6人、欠席委員5人、事務局3人

【会議要旨】 ※ [] 内は話者

1 開会〔事務局〕

2 会長あいさつ〔会長〕

5月に開催した第1回会議において、事業計画として今後策定する地域公共交通計画の基礎資料となる市民アンケートを今年度行うことを承認いただいた。

本日は市民アンケートの素案について協議いただく。より良いアンケートになるように、委員それぞれの立場から忌憚のない御意見をいただきたい。

3 議事

地域公共交通計画策定に係る市民アンケートの内容について

<質疑>

〔Q. A委員〕

アンケートは小林市全域で2,000通なのか。野尻地区はどれくらいになるのか。

〔A. 事務局〕

2,000通の中に野尻地区も含まれている。野尻地区については、2,000通のうち300～400通になる予定である。

〔Q. B委員〕

高齢者にとってはアンケートに答えるのも苦勞するので、有効な回答を得られるように工夫が必要ではないか。友愛クラブ連合会には高齢者が2,400人程度いるので、高齢者から何人くらい回答が欲しいか希望があれば、地区別に協力を求めることもできる。その方が回答が確実に得られるのではないか。

〔Q. C委員〕

高齢者には35個の設問に答えることが難しい。高齢の対象者を減らすか、高齢者については無作為ではなく、団体に別で発送する等の工夫が必要ではないか。

〔A. 事務局〕

今回のアンケートについては、市全体の大きな傾向をつかむために行うものであり、来年度にグループインタビューを行い、アンケートでは把握できない意見を聞く場を設けることとしている。その際は友愛クラブ連合会をはじめ、高齢者の皆様に協力をいただきたい。

〔Q. D委員〕

グループインタビューについては、どういった団体を想定しているのか。主に公共交通機関を利用する方を対象により深く聞いていくということか。

〔A. 事務局〕

今回会議に参加いただいている団体をはじめ、主に公共交通機関を利用すると思われる団体や高齢者団体に協力をいただければと考えている。

〔Q. E 委員〕

昨年度、宮崎県バス利用促進協議会が実施したアンケート（路線バス）について、質問項目に「運賃が高いから」が乗らない理由にないので、選択肢に入れば、県の傾向と小林の傾向が比較できるので参考にしてほしい。

〔Q. A 委員〕

野尻地区は、野尻地区内でコミュニティバスが運行しており、コミュニティバスで小林市まで行けない。そういう特性が項目として設問に反映されていないので、そういったものも含めると野尻地区の状況も見えてくるのではないかな。

〔A. 事務局〕

選択肢については検討する。

〔Q. A 委員〕

障がい者団体もグループインタビューで対応するのか。

〔A. 事務局〕

その予定である。グループインタビューをする団体については、来年2月に予定されている活性化協議会でグループインタビューする団体の案を諮りたいと考えているので、その際に意見をいただきたい。

◆原案承認

4 その他

〔F 委員〕

障がい者の健幸のまちづくり拠点施設への移動について、障がいの程度によっては移動支援のサービスに該当しない人もいる。車椅子の人や日常の移動に制限がある人についての移動はどのように考えているか。また、今は自力で移動ができる障がい者も高齢化や障がいの程度の進行によって移動に困る人が出てくると思う。健幸のまちづくり拠点施設までは距離があるので、そういった人の移動手段をどのようにするかが、今後の大きな課題であると思う。

〔事務局〕

拠点施設への移動については、アクセスの向上を図ろうとしている。福祉的な移動については、昨年から「交通と福祉の連携」の中で、福祉部門との連携を図って研究を行っているので、車椅子の方の移動等についてどういった対応ができるかを考えていきたい。

5 事業者の近況報告

①バスの利用状況等について（宮崎交通株式会社）

夏休み期間中の路線バスの状況について、宮崎小林線が朝混雑している。朝から宮崎市に行きたい学生が増えたことが原因と思われ、臨時便や時間変更について検討しているが、夏休みが終われば平時の状況に戻るため難しい判断である。次年度は混雑する時間帯の増便や時間帯調整を行い対策を行いたいと考えている。

②鉄道の利用状況等について（J R 九州宮崎支社）

8月7日の大雨の影響について、現在復旧に向けた対応を行っており、学校が始まる頃には吉都線は通常運行に戻る予定だが、状況が変わる可能性があるためホームページで情報を確認してほしい。

吉都線の利用状況について、先日昨年度の実績が公表された。平均通過人員は一昨年402人→昨年392人と、1年で10人減っているが、引き続き地域交通の結節点としての役割を果たしていきたいと考えている。